

企画展

七宝焼 の中の 昆虫展



2022.

4/29(金・祝) - 6/5(日)

会期中の休館日

5/2(月)・6(金)・9(月)・16(月)・23(月)・30(月)

9:00~17:00

開館時間 入館は16時30分まで

あま市七宝焼アートヴィレッジ

場 所 ふれあい伝承館 企画展示室

観覧料 大人 310円(250円)

常設展示観覧料金にて観覧可 小中学生 100円(50円)※()内は20人以上の団体



あま市七宝焼アートヴィレッジ

愛知県あま市七宝町遠島十三割2000番地
TEL 052-443-7588 FAX 052-443-7122
<https://www.shippoyaki.jp>



企画展

七宝焼の中の昆虫展

七宝焼の絵柄の多くは花鳥画となっています。

日本における絵画や工芸品の文様の淵源は、中国絵画に求めることができます。その中に草虫図は画題として挙げられています。「草虫」という言葉は中国最古の詩集である『詩経』にみられます。絵画史上では、中国の北宋時代の宮廷コレクション記録である『宣和画譜』にみられます。しかしながら、草虫図はそれほど盛んな画題ではなかったようです。

今回の企画展では、七宝焼の絵柄の中では希少なものと言える昆虫の絵柄に焦点を当て、昆虫の絵柄が表されている七宝焼作品を紹介します。

長かった厳しい冬を経て穏やかな春を迎え、昆虫が飛び回る季節になり、実際の昆虫を想像しながらご覧いただけます。

◆イベント案内

七宝職人さん大集合 参加無料

七宝職人さんが全工程に勢ぞろいし、技を披露します。職人の技を間近で見ることができる絶好の機会です。

日時：5月1日(日)
午前9時30分～正午、午後1時～午後4時30分
場所：実演コーナー
申込：事前申込不要



伝統文化映画会 参加無料 ※先着順

「蒔絵 室瀬和美 時を超える美」

伝統的な蒔絵技術を現代に活かし、美を追求し創作する姿と、国内外へ漆の価値発信を行なう姿を追う。

日時：5月7日(土)、8日(日) 各日 午前11時～、午後2時～(全4回 約39分)
場所：交流工房 定員：各回30名
申込：事前申込不要

七宝歴史講座 参加無料 ※先着順

七宝焼の歴史について、様々な角度から学ぶ講座。

講師：当館学芸員
日時：5月15日(日) 午後2時～3時30分
場所：交流ホール 定員：30名
申込：要事前申込

観覧料

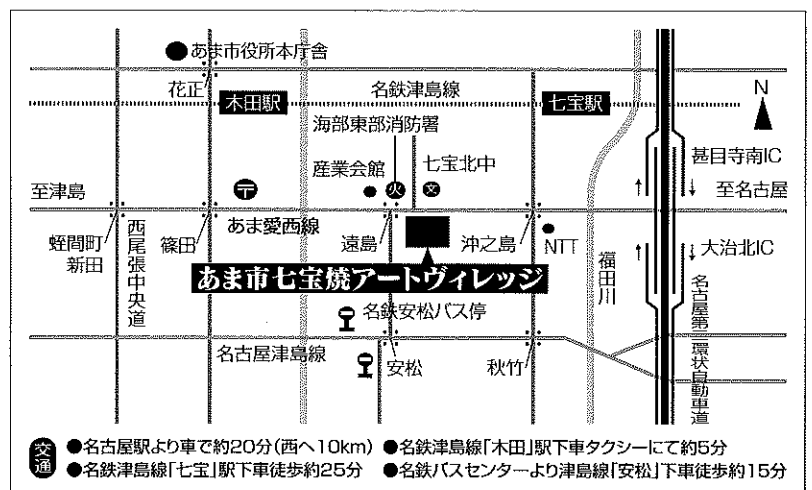
大人 310円(250円)
小中学生 100円(50円)

※()内は20人以上の団体

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
会期中の休館日：5月2日(月)・6日(金)・9日(月)・16日(月)・
23日(月)・30日(月)

あま市七宝焼アートヴィレッジ

愛知県あま市七宝町遠鳥十三割2000番地
TEL.052-443-7588 FAX.052-443-7122
HP <https://www.shippoyaki.jp>



●名古屋駅より車で約20分(西へ10km) ●名鉄津島線「木田」駅下車タクシーにて約5分
●名鉄津島線「七宝」駅下車徒歩約25分 ●名鉄バスセンターより津島線「安松」下車徒歩約15分